

東大柏部会ではこのコロナ禍で大半の会員はリモート交流をしています。このような状況下、7月出産予定の留学生が中国に帰国できず、日本での出産を余儀なくされ、それを東大柏部会の会員の関係プレーで支援しましたので、その概要をご紹介します。

Kさんは中国出身の留学生で、夫と共に来日し東大柏で夫は博士課程に、Kさんは修士課程に在籍しています。

約1年半前から三井V-Net東大柏部会の鈴木さんと週1回の対一交流をしているなか、今年の7月に出産することとなりました。初めての出産ということもあり中国に帰国する予定でしたが、折あしくコロナ騒動で帰国もできなくなり、慣れぬ日本での出産ということになりました。

ご両親も来日できず、わからないことばかりで、赤ちゃん用品なども何を準備すべきか全くわからず交流相手の鈴木さんに相談しました。鈴木さんから事務局に依頼、東大柏部会の中で不要になった赤ちゃん用品を募集することとなり、4月に部会の全会員に協力依頼のメールを発信しました。

早速女性会員の原澤さんが協力を申し出、日本でのお産や妊娠中に気を付けることなど何回かメールのやりとりをしながらアドバイス。またKさんの住まいが原澤さんの自宅から徒歩5分の近所と分かり、Kさん夫婦が原澤さん宅を訪問、直接色々と言いつつながら食事をご一緒したこともあったそうです。

Kさんは原澤さんの娘さんと同じ年ということで、心細くなりがちな異国の地で初出産というなか、原澤さんの支援がどれだけ心強かったことかと思えます。

7月23日、Kさんに無事女の子が生まれ、出産後も原澤さんは支援を続けています。